

コンセプトは “Music & Knowledge”

キャンパスに 音楽と知を融合させ 新たな文化を発信

2017年2月26日、大阪工業大学の新キャンパス「OIT梅田タワー」に、“Music & Knowledge”をコンセプトとして、「常翔ホール」は誕生しました。その特長は、豊かな音色と響きを体感できるコンサートホールと、学会や講演会会場としても使いやすいコンベンションホールとしての役割を高度な次元で両立していること。2つの性格を併せ持つホールに集う「音楽と知」、そして、大阪工業大学が持つ先進テクノロジーとデザイン。これらの交流から生まれる新しい文化を、梅田から発信していきます。

ホールの用途



ピアノ、室内楽



学会、講演会



映画上映



小編成オーケストラ

施設・設備



緞帳

緞帳の原画は、日本画家の上村淳之画伯作「翔(しょう)」。



音響反射板

室内楽やジャズ、ポピュラーミュージックなど、さまざまな音楽に最適な残響時間の空間を実現しています。



座席

シンポジウムや学会での利用を考慮した、「テーブル付の座席。車いす席も4席確保しています。」



控室 [3階]

控室は2室を用意しており、演者の数に応じた利用が可能です。また、2階のクロークもご利用いただけます。



OITギャラリー [1階]

大阪工業大学のギャラリー空間も併設しており、サイネージシステムとデジタルアーカイブによって、先進研究の一端を知ることができます。



セミナー室 [2階]

セミナー室は4室(54人/52人/141人/102人定員)。室内の椅子は大阪工業大学の学生が授業で開発・デザインしたものです。



ホワイエ [3階]

学生がデザインした家具やオブジェクトを配置。家具は奈良県川上村の杉材を使用し、ぬくもりある空間としています。



会議室 [3階]

24人が利用可能な会議室を2室用意。間仕切りを収納すれば、大会議室として利用することもできます。

常翔ホール 施設概要

■ ホール

客席	576席 (テーブル席554席、メモ台席18席、車いす席4席)
残響時間	1.5秒/500Hz(音響反射板セット時) 1.2秒/500Hz(プロセニウム形式)
平均吸音率	0.21/500Hz(音響反射板セット時) 0.25/500Hz(プロセニウム形式)
音響性能目標値	NC-25(非常に静か) ex. ラジオスタジオ、劇場(中)、特別病室など
舞台機構	緞帳、音響反射板、300インチスクリーンなど 間口：開口幅：16m、開口高：6.3m 高さ：客席床面から舞台面まで0.75m 奥行：固定ステージ先端から8m
控室	2室(控室301、控室302)
駐車場	地下駐車場(平面10台、機械式48台)

■ セミナー室

セミナー室 4室

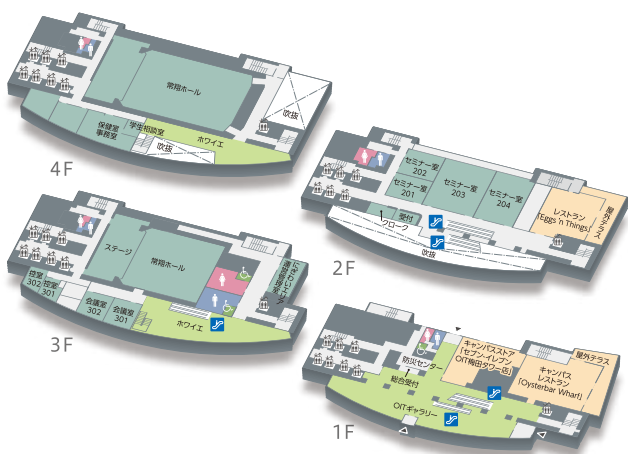
セミナー室201: 収容人数54人
 セミナー室202: 収容人数52人
 セミナー室203: 収容人数141人
 セミナー室204: 収容人数102人
 ※セミナー室201と202およびセミナー室203と204は間仕切りを外しての利用可能

■ 会議室

会議室2室

会議室301: 収容人数24人
 会議室302: 収容人数24人
 ※2室間の間仕切りを外して大会議室としての利用可能

■ FLOOR GUIDE



■ ACCESS

大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー

大阪市北区茶屋町1番45号

【連絡先】総合受付 06-6147-9015



地下2階は連絡通路で接続。JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から地下街を
 通ってアクセスできるので、雨の日も快適です。

JR「大阪」駅から徒歩5分

地下鉄御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分

地下鉄谷町線「東梅田」駅から徒歩5分

阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩3分

阪神電鉄「大阪梅田」駅から徒歩7分